

VAVコントローラチェッカー

形EY7206S1000

■ 概 要

VAVコントローラチェッカー（形番EY7206S1000）は、VAVコントローラ（形番WY7206、形番WY5206、形番WJ-1201）に擬似信号（VAV・Pt100・設定器）を入出力することにより不具合箇所の絞り込みができる機器です。VAVコントローラとコネクタ付きケーブル（形番DY7210など）で接続することにより、手軽に確認が行えます。また、FCUコントローラ（形番WY7205、形番WY5205、形番WJ-1202）の一部の機能にも使用可能です。

■ 仕 様

項 目	仕 様
使用環境条件	温度：0～35℃ 湿度：10～90%RH （ただし結露しないこと）
輸送保管条件	温度：－20～60℃ 湿度：5～95%RH （ただし結露しないこと）
接続	モジュージャック方式
付属品	モジュラーケーブル2本
電源	DC8V（VAVコントローラより供給）

■ 形 番

形 番	名 称
EY7206S1000	VAVコントローラチェッカー

■ 外形寸法

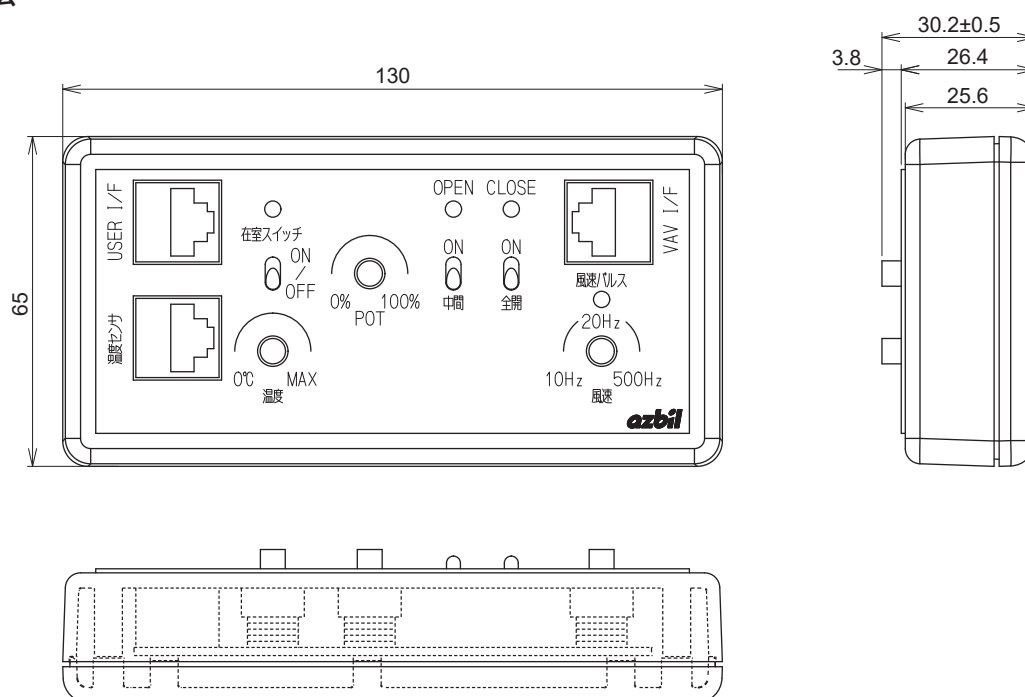


図1 外形寸法（mm）

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、明白な誤操作や誤使用によって発生する可能性のある危険（の状態）を警告（注意）する場合に表示（左図は感電注意の例）。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示（左図は分解禁止の例）。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示（左図は一般指示の例）。

⚠ 注 意



本製品は仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)の範囲内で使用してください。
火災や故障の原因となるおそれがあります。



本製品は仕様に定められた定格の範囲で使用してください。
守らないと故障の原因となるおそれがあります。



取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。



配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。



本製品への給電元に必ず電源遮断ブレーカを設けてください。
本製品は電源スイッチがないため、本製品側では電源を切れません。

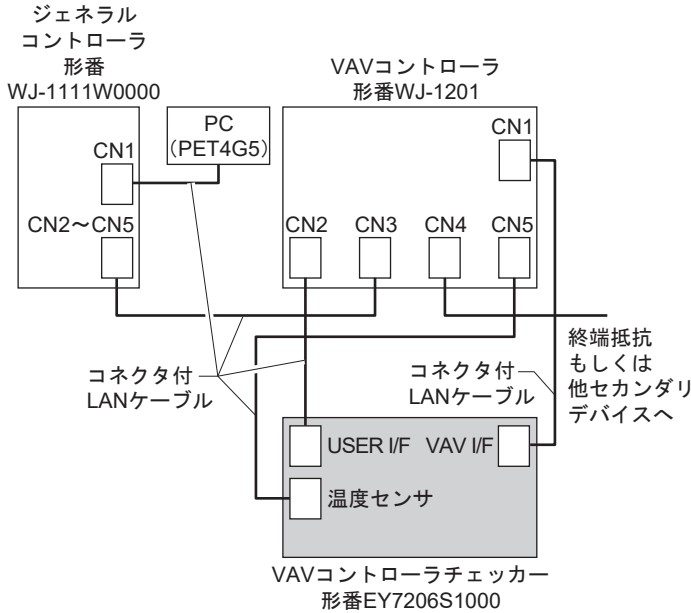


端子ねじは確実に締めてください。
締め付けが不完全だと発熱・火災の原因となるおそれがあります。

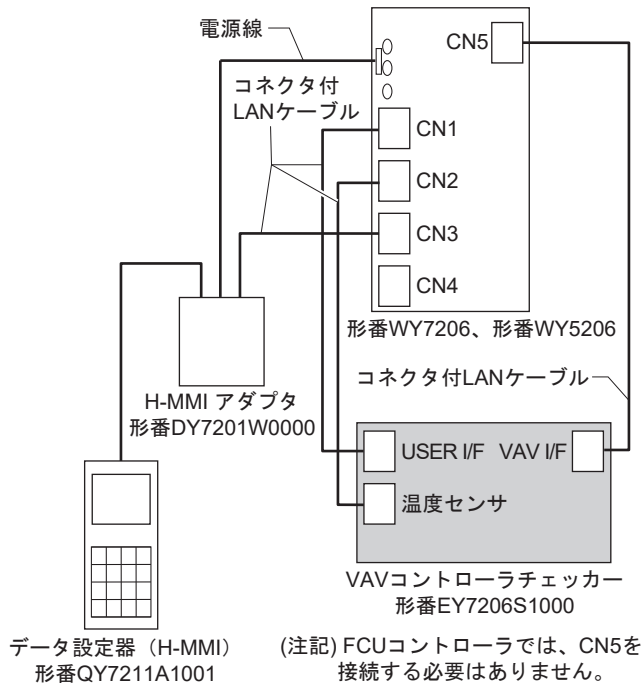
重要 !! ・本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、新品に交換してください。印加により機器が故障するおそれがあります。

■ 結 線

● 形番WJ-1201との接続



● 形番WY7206、形番WY5206との接続 (データ設定器をSCMに接続しない場合)



重要 !! ●ケーブルを接続する前に、コネクタの番号をよく確認してください。

- 上図の接続をする場合、VAVコントローラ（形番WY7206、形番WY5206）のCN4にはケーブルを接続しないでください。
接続された状態では、H-MMIでVAVコントローラ（形番WY7206、形番WY5206）の状態を確認できません。
- 長時間にわたって、VAVコントローラチェッカーをVAVコントローラに接続したままにしないでください。

表1 チェック項目と接続方法

No	チェック項目	形番 WY7206 形番 WY5206 形番 WY7205 形番 WY5205	形番 WJ- 1201	VAV コント ローラ チェッ カーの 接続箇所	形番 WJ- 1202
1	VAVの動作確認など (FCUコントローラでは使用しません)	CN5 CN1*	CN1 CN2*	VAV I/F USER I/F	—
2	Pt100 (外部センサ)	CN2	CN5	温度 センサ	CN4
3	アナログ 設定器 (ON/OFF、 POT)	CN1	CN2	USER I/F	CN1

* VAVコントローラチェッカーは、VAVコントローラより給電されています。
No.1のチェック項目を行う場合は、VAVコントローラとVAVコントローラチェッカーのUSER I/Fを接続する必要があります。

■ 使用方法

● 風速信号（パルス入力）の確認（接続方法No.1）

- (1) VAVコントローラチェッカーの「風速」ボリュウムを左右に動かします。
- (2) 左に回した時
計測風速が減っていることを確認します。
- (3) 右に回した時
計測風速が増えていることを確認します。

(注記) 周波数/風速換算係数＝風速

● ダンパ動作の確認（接続方法No.1）

- (1) VAVコントローラのダンパ動作指令において開指令を行います。
- (2) VAVコントローラチェッカーの「OPEN」LEDが点灯することを確認します。
(注記) LEDが点灯しない場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。
- (3) VAVコントローラのダンパ動作指令において閉指令を行います。
- (4) VAVコントローラチェッカーの「CLOSE」LEDが点灯することを確認します。
(注記) LEDが点灯しない場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。
- (5) 確認が終了したあと、VAVコントローラのダンパ動作指令を自動に戻します。

- (6) この操作を行わないと、VAVコントローラが自動制御を行わなくなります。

● ダンパ開度接点信号の確認（接続方法No.1）

- (1) VAVコントローラチェッカーの「中間」「全開」の両方のスイッチが、「ON」側ではないことを確認します。
- (2) VAVコントローラのダンパ接点入力信号の「85%開度」と「全開」がOFFになっていることを確認します。

(注記) 異なる場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。

- (3) VAVコントローラチェッカーの「中間」スイッチを「ON」側に倒し、「全開」のスイッチが「ON」側ではないことを確認します。
- (4) VAVコントローラのダンパ接点入力信号の「85%開度」がON、「全開」がOFFになっていることを確認します。
- (注記) 異なる場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。
- (5) VAVコントローラチェッカーの「中間」「全開」の両方のスイッチを「ON」側に倒します。
- (6) VAVコントローラのダンパ接点入力信号の「85%開度」と「全開」がONになっていることを確認します。

(注記) 異なる場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。

● 温度計測の確認*¹（接続方法No.2）

VAVコントローラのセンサ種別が「外部センサ」のときのみ有効です。

- (1) VAVコントローラチェッカーの「Pt100」ボリュームを左右に動かします。
- (2) VAVコントローラの室内温度計測が、ボリュームによって変化することを確認します。

(注記) 値が変化しない場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。

● アナログ設定器の確認*¹（接続方法No.3）

VAVコントローラの設定器種別が「アナログ設定器」のときのみ有効です。

- (1) VAVコントローラチェッカーの「POT」ボリュームを左右に動かします。
- (2) VAVコントローラの手元微調設定が、ボリュームによって変化することを確認します。

(注記) 値が変化しない場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。

● 在室（ON/OFF）スイッチの確認*¹（接続方法No.3）

VAVコントローラの設定器種別が「アナログ設定器」のときのみ有効です。

- (1) VAVコントローラの「発停」がOFFとなっていることを確認します。
- (2) VAVコントローラチェッカーの「在室スイッチ」を上側に倒し手を離します。（「在室スイッチ」はOFF側に戻ります）
- (3) VAVコントローラの「発停」がONとなり、「在室スイッチ」のLEDが点灯することを確認します。

(注記) 異なる場合には、VAVコントローラが故障している可能性があります。

*1 FCUコントローラも同様の方法で使用できます。

■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

また、本製品の一部、または全部を再利用しないでください。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。